

私のサイレント・ウェイ実践
～ゼロ初級日本語学習者であるインド人ビジネスパーソンの事例から～

鈴木真奈（鈴木日本語アカデミー）

**My practical study of “Silent Way”
-Case studies of several Indian business persons studying Japanese at beginner level -**

Mana SUZUKI (Suzuki Japanese Academy)

1 実践の背景と問題意識

本研究は、サイレント・ウェイ(以下、SW)式仮名導入表(川口義一氏開発)を使用した、日本語教育の実践報告である。国内で組織的な日本語教育が始まってから様々な教授法や学習理論が提唱されたが、現在多くの教育機関で実践されている代表的な教授法がオーディオリンガル・メソッドとコミュニケーションティブ・アプローチである。しかしながら、いずれの教授法も教師が発音モデルとなったり、教室の外を重視する指導法であったりするため、学習者は常に受身的で学びの主体性が保証されない。一方、SWは教師がレクチャー的なことをせず、サポート役に徹し、学習者自らが試行錯誤を繰り返しながら発音を発見する教授法である。こうした理念は学習者の主体性を重視し、人間的な表現活動を可能にする教育理念であり、日本語教育に応用されるべきだと考えている。

2 先行研究

WEB版日本語教育実践研究フォーラム報告(日本語教育学会)によると、日本語教育の実践報告は2005年以降181件である。そのうち、初級学習者に関する実践報告は13件であるが、教授法を扱った報告は0件である。日本語教師養成講座では日本語教授法について学ぶ機会があるが、現場の実践で応用されていないのは、教師自身がその理念を理解していないからではないだろうか。本稿では、筆者の実践の紹介を基に、教育実践の今後の更なる発展を目指したい。

3 実践の概要

3-1 実践の枠組み

本実践は、筆者が運営する日本語教室のゼロ初級クラスにおいて、週1回90分授業で4回行われた(2016年4月)。学習者はいずれもインド出身の男性エンジニアで、3名である。語彙は身近で「文脈化」しやすいもの、会話文は「個人化」を徹底し、自己開示・他者理解を重視するようにした。また、クラスが少人数編成であることから一人当たりの発話量も増えるため、学習者の興味や関心、反応に合わせて、その都度、臨機応変に対応するように心がけた。

3-2 実践の目的

本実践は、全4回の表現活動を通じ、以下の3点を目的とした。

- 1) 日本語の表記と発音を結びつけ、全体図がイメージできるよう支援すること。
- 2) 学習者同士を参考にさせ、協働性を促すこと。
- 3) 学習者が自分にとって意味のあることが表現できるよう支援すること。

3-3 各回の内容

各回のテーマと取り上げた主なトピックを以下に示す。

第1回	平仮名：表記、発音、語彙、句、文、会話(食べ物の好き嫌い、好みの程度)
第2回	片仮名：表記、発音、語彙、句、平仮名交じりの文、会話(出身地域、母語、飲み物の好き嫌い)
第3回	会話I：得意なこと、苦手なこと、頻度
第4回	会話II：趣味、家族、助数詞の導入

※実践は、川口義一氏が開発したSW式仮名導入法の使用解説(2016年度版)に従った。

4 結果

- 1) 初回は、母音のみで構成される「家」「上」などの簡単な語彙から始まり、「青い傘」「赤い顔」といった名詞句、そして「肉は好きですか」→「はい/いいえ」→「あ、そうですか」といった会話まで発展させることができた。さらに、好き嫌いの程度を加えることで表現活動がより深まり、学習者同士の関係性の中に、自己表現と他者理解が構築された。
- 2) 市販の五十音表では分かりにくい平仮名の濁音・半濁音や特殊拍、片仮名の外来音が、SW式仮名導入表を使用することによって、視覚的にスムーズに導入できた。

5 学習者の反応

各回の授業で表出された、学習者の意見や感想を紹介する。

- 1) 日本語の五十音は自分の母語にもある音だということが分かった。
- 2) 片仮名なら、より正しく表記できることが分かった。(ex. タンドュリーチキン)
- 3) 自分の言いたいことが言えるのは楽しい。初回から沢山話した感じがした。

6 まとめ

初めて日本語に触れる学習者にとって初回の導入は重要である。今回は3名という小規模のデータであったが、SW式の教育実践によって学習者の学習意欲や思考、内面が活性化されるということがわかる、価値ある結果になったのではないだろうか。今後も教育現場の向上の一助となるよう実践を続けていきたい。

参考サイト

WEB版『日本語教育実践研究フォーラム報告』(日本語教育学会)

<http://www.nkg.or.jp/kenkyu/Forumhoukoku/kk-Forumhoukoku.htm>